

議員派遣結果報告書

平成 31 年第 1 回定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和元年 5 月 31 日

愛南町議会議長 内倉 長藏 殿

愛南町議会副議長 原田 達也

記

1 町民との意見交換会の経過（議員派遣の概要）

本議会は、平成 31 年 4 月 19 日（金）午後 6 時 30 分より御荘文化センター大研修室において、町民の声を議会活動に反映させ、まちづくりや議会の活性化に資する目的で、第 2 回町民との意見交換会を「平成 31 年度当初予算について」をテーマに実施した。

2 意見交換会の詳細

（1）派遣議員

金繁典子、鷹野正志、原田達也、佐々木史仁、坂口直樹、山下太三、
中野光博、濱本元通、内倉長藏、宮下一郎、山下正敏、那須芳人、
吉村直城、土居尚行、西口 孝 以上 15 名

（2）出席者

35 名（受付用紙記入者数）

（3）進行

- ①議長挨拶
- ②議長による平成 31 年度当初予算の概要説明
- ③参加者との意見交換会

（4）意見内容（要旨）

今回は当初予算をテーマに、町の将来について参加者と意見交換を実施した。

まず初めに、議長による一般会計予算 131 億円の概要説明の後、当初予算をテーマに質疑応答を行った。町民からふるさと納税で全国的に問題になっている自治体について質問があり、ふるさと寄附金事業での返礼品は愛南町の特産とし、愛南町

のPRをしている。寄附金は、ふるさとづくり基金に積み立て、寄附者が指定した使途の事業に充当していると説明するなどした。

議会活性化特別委員会委員長より、議会の今後の活動として、議員定数や議員報酬の見直し等に関する公聴会を実施する旨の説明。参加者からは議員のなり手不足等を勘案しても報酬アップを含め大いに議論すべきとの意見があった。合せて、議会の開催日や町長選挙に合せた議員選挙日程等の見直しに関する意見もあった。

今回のような議会主催の意見交換会を、いろいろな所で、少人数でも実施してもらいたいとの意見も出された。

3 まとめ（報告）

5月31日（金）、議員全員により意見交換会の取りまとめを行った。

当初予算に対する具体的な意見よりも、5年後10年後の愛南町の将来ビジョンについての意見や要望を強く感じた。

今後、委員会等主催により地域別に細やかな意見交換会を実施し、各地域の実情や要望を議会に反映できるよう取り組む必要がある旨の意見もあった。

なお、今回の意見交換会の報告書やアンケート結果については、広報や町のホームページへの掲載を実施することとした。

意見交換会の今後の予定についても協議を行った。

今回の意見交換会の参加状況や町民からの意見等について、別紙のとおりまとめた。

（1）町に対する報告（要望）

議会主催の意見報告会とは別に、町と町民の意見交換ができる場をつくるべきではないか。

（2）意見交換会の反省（今後の展開等）について

- ① 議会に対する意見交換会と町に対する要望が混同している為、町民に分かりやすい進行に努めるべき。
- ② 予算のような広いテーマではなく、町民が今関心を持っている具体的な内容についての意見交換会に努めるべきではないか。
- ③ 少人数での座談会方式での実施等より多くの方が発言できる方法についても考えるべきではないか。
- ④ 広く地域の声を集約する観点から、各地区での開催や地域に応じた時間設定を行ってはどうかとの意見あり。
- ⑤ 幅広い町民の参加を得る必要があることから、各地域や議会の委員会に応じたテーマ別の意見交換会の開催も一案ではないか。

（3）意見交換会の公開について

今回の意見交換会の報告とアンケート結果を町のホームページにて、公開す

ることとするが、個人情報観点から個人を特定するような文言や誹謗中傷的な意見等は削除することとする。

(4) 意見交換会の今後の予定について

次回の意見交換会の日程やテーマについては、防潮堤をはじめ図書館やまちづくり及び町の将来展望についての意見交換会を希望する声があるものの、今回町が行った図書館整備町民説明会の状況や図書館等建設検討特別委員会の動向を勘案して実施の時期等協議していきたい。

以上報告とする。